



ご挨拶

岩手県立花泉高等学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

一関市花泉町の豊かな自然と温かい地域社会に生まれ、地域に根ざした教育活動を展開する本校は、昭和23年4月に一関第一高等学校定時制課程普通科流れ分校として発足し、翌年、花泉高等学校定時制として独立、昭和25年4月に全日制課程へと移行いたしました。令和9年度（2027年度）には、「創立80周年」の節目を迎えます。これまで9,200名を超える有為な卒業生を輩出しており、同窓生の方々は、地元の岩手はもとより、国内外の様々な分野で活躍されています。これまでの歩みを支えてくださった同窓生、保護者の皆様、そして地域の方々の多大なる御支援と御協力に、心より深く感謝申し上げます。

本校が脈々と受け継いできた校訓、それが「知行合一」です。これは中国の明の時代の学問・陽明学の基本思想であり、「知ることと行うことはもともと一つのもので、本当の知識には必ず行動が伴うものである」という意味を持っています。現代は、予測困難で変化の激しい時代と言われています。だからこそ、教室での座学（知）にとどまらず、自ら社会へ飛び出して実践（行）し、学びを深めていくこの校訓の精神は、今まさに生徒たちに必要な生きる力そのものであると確信しています。この校訓のもと学んでいる在校生は、大変素直で前向きであり、明るく落ち着いた雰囲気の中で、日々の学習や生徒会活動、部活動に意欲的に励むとともに、地域行事への参加やボランティア活動にも熱心で、地域に愛される存在として成長しています。こうした生徒一人ひとりの個性を生かし、能力を伸ばす少人数指導や手厚いキャリア教育、資格取得の奨励、学校独自の教育課程により、近年の進路決定率100パーセントを継続しております。国公立・私立大学、短期大学、医療系専門学校への進学から、公務員、県内外の企業への就職まで、多様な進路希望を確実に実現する体制が花高にはあります。

今年度、本校では「いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業」の核として、花高魅力化プロジェクト（通称：花プロ）「地域課題探究」を更に進化させます。花泉の町全体をひとつの大きな「教室」に見立て、生徒たちは「歴史・伝統」「地域文化」「福祉」「観光・経済」の4つの系統に分かれ、地域の大人たちをメンター（助言者）として、実社会のリアルな課題解決に挑みます。自発的に問いを立て、仮説を検証し、ICTやデジタルデバイスを活用したデータ分析を行いながら、社会を変える一歩を踏み出す。この「本物とつながる『動く学び』」の循環を通して、社会参画力や自律的活動力を伸ばし、将来の地域活性化に貢献できる人材を育成して参ります。

「知行合一」の循環により、生徒が失敗を恐れず挑戦し、主役として輝く「魅力ある学校づくり」に、教職員一丸となって邁進します。

保護者の皆様、同窓生の皆様、そして地域住民の皆様におかれましては、今後とも花泉高等学校の充実・発展に向け、変わらぬ温かい御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます、挨拶と致します。

令和8年4月
岩手県立花泉高等学校
校長 伊藤 治子

